

日 校時 クラス	教科等	単元名・題材名
2月10日5校時 6年ホップ10名	算数	算数のしあげ(1/19時)
本時のねらい	課題を解決するために、どのような教材を使って学習を進めていくか、具体的な見通しをもって計画を立てることができる。	
本時の 評価規準 ▶評価方法	(ア)学習計画を立てるために、自分の課題を分析することができる。〔▶学習計画シート〕 (イ)課題解決に向けた具体的な手だてを考えることができる。〔▶学習計画シート〕	
展開	学習活動	★見取り ◇留意事項
問題の提示 問 (5分)	1 本時のめあてを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">6年生の学習をふり返り、自分の課題を解決するための学習計画を立てよう。</div>	★レディネステストの結果から、自分がどの単元でつまづいているか。
課題の設定 課 (10分)	2 例示された単元において、課題解決につながる基礎単元を選択する。	◇基礎単元の第3・4・5学年の問題の中で系統を遡った教材を用意する。
自力解決 自 集団解決 班 (20分)	3 自分の課題に沿った教材に取り組む。 <考えられる主な学習活動> ・前学年までの基礎単元学習を進める。 ・個別に行い、必要に応じて助言をもらう。 ・グループ学習、ペア学習で学習内容の確認を行う。	◇一人一人の児童の様子を見て、必要に応じて個別に指導をする。 ★課題の進行度に応じて学年を進めた学習内容に取り組んだり、学年を遡った学習内容に取り組んだりすることができているか。 ◇課題解決が進んでいる児童については、学年を進めて取り組み、あまり進んでいない児童については、さらに遡った学習内容に取り組むように言葉掛けをする。
価値の共有 ま (5分)	4 立てた学習計画を共有する。	◇計画を具体的に説明することで、自分の考えを整理できるようにする。
振り返り ふ (5分)	5 振り返りを書き、次時以降も同様の流れで学習を進めていくことを確認する。(OPPシート)	◇OPPシートを配布し、本時の振り返り(どの範囲を自己の課題としたか、等)と次時の目標(次時に取り組む学習内容を具体的に)を記入する。